



## 「ヨーグルト」の支出

- 家計調査結果より -

みなさんの中には、ヨーグルトを、健康や美容のために召し上がっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

夏が少しずつ近づいてきましたが、ヨーグルトを食べると、腸内環境が整えられて腸の働きが良くなることから、夏バテによって弱った腸にも効果があるとされています。

今月は、「ヨーグルト」(果実入りやドリンクヨーグルトも含む。)の支出について、二人以上の世帯の結果から見てみましょう。

### 「ヨーグルト」の支出はほぼ横ばいで推移

1世帯当たりのヨーグルトの年間支出金額の推移をみると、2019年は13,157円と、2016年をピークにほぼ横ばいとなっています。2016年に大きく増加した理由としては、乳酸菌やビフィズス菌の機能性と健康効果が広く知られたことや、手軽なドリンクタイプが増えて消費を後押ししたことなどが考えられます(図1)。

### 39歳以下の世帯で支出金額が大きく増加

次に、2019年の1世帯当たりのヨーグルトの年間支出金額を世帯主の年齢階級別にみると、60歳代の世帯が最も多くなっており、次いで70歳以上の世帯で支出が多くなっています。また、5年前(2014年)と比べてみると、全ての年齢階級で支出金額が増えており、特に39歳以下の世帯の増加幅が最も大きく、約2,100円の増加となっています(図2)。

図1 「ヨーグルト」の年間支出金額の推移  
(2014年～2019年)

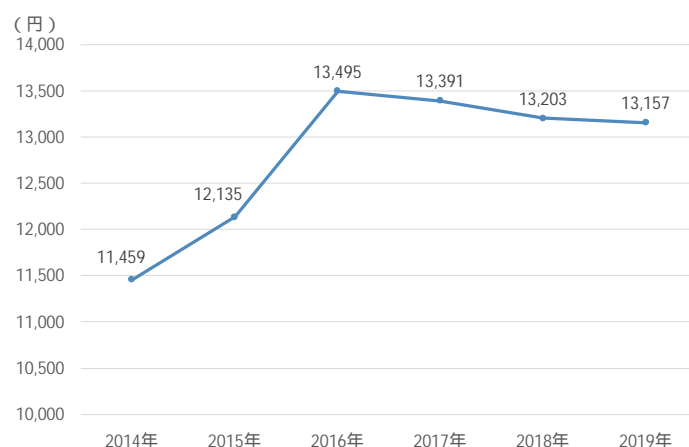


図2 世帯主の年齢階級別「ヨーグルト」への年間支出金額(2014年、2019年)

